

黎明インターンシップ通信 No.3-1

～ソクラテスミーティング～

4月28日 103組編

平成28年5月13日

探究基礎、序盤のプログラムとして恒例の「ソクラテスミーティング」。

古代ギリシャの哲学者ソクラテスが、たくさんの青年たちと対話を重ねたことで青年たちが多くを学び、時代を切り拓いていった事に由来する少人数・対話型の講話会です。今年も、1クラス6人、計18名の社会人講師の話に生徒が熱心に耳を傾けました。

探究基礎の流れ

キックオフミーティング

コミュニケーション講座

★ソクラテスミーティング

感想交流

インターンシップ希望調査

エントリーシート

マナー講座

インターンシップ

お礼状作成

報告会

ソクラテスミーティングは、毎年、学習閲覧室で実施され、明るい雰囲気の中、初対面の個性豊かな大人6名との交流の場が持たれます。今年の1年生が、そのような大人から、社会について、仕事について、大いに学びました。



キャリア教育を瀬戸エリアを進める、団体代表の船坂氏。「マズローの欲求5段階説」を元に自らの人生を語る姿に、はじめは???な103組の男子も。講師の強烈な人生体験とそれをバネにしてきた活動の内容を聞いて、心が動いた様子でした。「みんな、真剣に聞いてくれて、我が子と話しているようで楽しかった!」と、コメントを残してくれました。



プロ野球選手のユニフォーム製造会社(株)エイビス(あま市)代表の伊藤氏。“ゴジラ松井選手”との2ショット記事を生徒に披露。これには、皆釘付けに。少年野球チームで指導した、かつての教え子が103組に! そんな嬉しい再会もありました!



昨年のインターンシップの様子を写真とともに紹介してくれた、三重フットサルクラブの永谷氏。高校時代、勉強は苦手だったが、「やりたいことの実現に誰よりも真剣に向き合ってきた」との話が。そんな姿に、運動部以外の生徒も、身を乗り出して聞いている様子でした。



大学生時代に既に起業していたことを語る、(株)市川自動車(愛西市)代表の市川氏。講師が大学生時に何を考えていたのか、興味津々の様子。北村君からは、「仕事はどんな風には選べば良いですか?」など改めて質問がありました。



白のipadを手に、自身の活動を語る池宮氏は、ガンボジアで、かごブランド「moily」を立ち上げた女性起業家。途上国の人々の自立に向け奮闘する姿に生徒も注目。



絵本の読み聞かせをしてくれた、中川学童保育所の長坂指導員。絵本を読んでもらうのは、何年ぶり? 立派なおじさんが絵本を通して、思いを伝える姿に思わず生徒も引き込まれました。ちなみに、この日、同席されたイケメン指導員は、喜多村の大学の同級生だとか。ここでも驚きの再会が!